



JEAN SASPORTES TETSU SAITOH 2DAYS AT RED BERRY STUDIO 4/14

ジャンさん体操 & 氣の道入門&身体と音のワークショップ

2013年2月札幌・旭川を初めて訪れたジャン・サスポータスは、北海道と深い縁を感じました。そして長年身近にいる私には驚くほどの変化をしました。より自由に、より身を投げ出している姿は、安心して故郷へ帰っているように見えました。ピナ・バウシュカンパニーの最初期から関わってきたジャンは、人間へ、人生への肯定感に満ちています。真善美を心の奥で固く信じているのです。北海道の大地と人に特別な共感をえた理由なのかもしれません。ちょうど一年後、また、北海道に行くことができることになり、ことのほか喜んでいました。この出会い・再会を実りに満ちたものにしましょう (齋藤徹)

[ジャンさん体操とは?]

ピナ・バウシュ舞踊団のソロダンサーとして有名なジャンさんが30年以上の経験から太極拳・合気道・氣の道・アレキサンダーテクニクなど東洋・西洋の身体の使い方の中からあみ出したものです。ダンサーや演劇人ばかりでなく、一般人、全くの初心者や障害のある方も対象として、リラックスした心とリラックスした身体を通して地から天へとエネルギーが通って行く感覚を身につけ、日常的に身体を意識するようになります。



[氣の道入門とは?] **NORO**

1979年、野呂昌道(のろまさみち)さんにより合気道の発展型としてパリで始まりました。野呂さんは、合気道の創始者・植芝盛平さんの内弟子で、ヨーロッパ・アフリカでの合気道普及のために1961年にフランスへ派遣されました。順風な普及活動をしていましたが、大きな交通事故に遭い、激しい動きの合気道から、よりソフトな「氣の道」を考案しました。攻撃と防御という武術の考え方が違って、より感覚的に身体を捉え、内面の近くを大切に、正しく、リラックスした姿勢を動きの基礎にしています。きっと多くの皆さんの武術観が180度ひっくり返るような、まるでダンスのような動きなのです。ジャンさんは25年間、野呂先生の直弟子で10年前に「氣の道」を教える資格を得ました。フランス、ドイツで教えています。日本人によって始められた「氣の道」が日本で普及していないのは不思議なことですね。



[身体と音のワークショップとは?]

ダンスとは何かを探る行為、音楽とは何かに呼びかける行為、という説があります。(野口三千三) ダンサーの何かを探る指先と演奏家が音を投げかける先はどこかで交差するはず。ダンサーはダンスをしながら音楽を奏で、ミュージシャンは音を出しながら踊っているのです。30年以上の経験のあるジャンと徹がその秘密を解きほぐします。音に潜む記憶がよみがえり、動きになり、動きは音を誘います。ノイジーな動き、ハーモニーのある動きとは何でしょう? 止まっているのに動きを感じる音・ダンス、動き回っているのに静謐を感じる音・ダンス・・・興味は尽きません。日常の中にある音を意識し、身体を意識することは、生活が変わるきっかけになるでしょう



ジャンさん体操 & 氣の道入門 & 音と身体ワークショップ

2014年4月12日(土) 開演 15:00~17:30 開場 14:30 (25名限定) 会場: レッドベリースタジオ (札幌市西区八軒2条西1丁目 札幌琴似教会裏 <http://www.akai-mi.com/>)
参加費: 3,000円 ライブ(14日)とのセット券 5,000円 予約・お問い合わせ: 011-633-2535 (レッドベリースタジオ)
企画・協力: レッドベリースタジオ 共催: あとりえ憧憬 奥井理ギャラリー